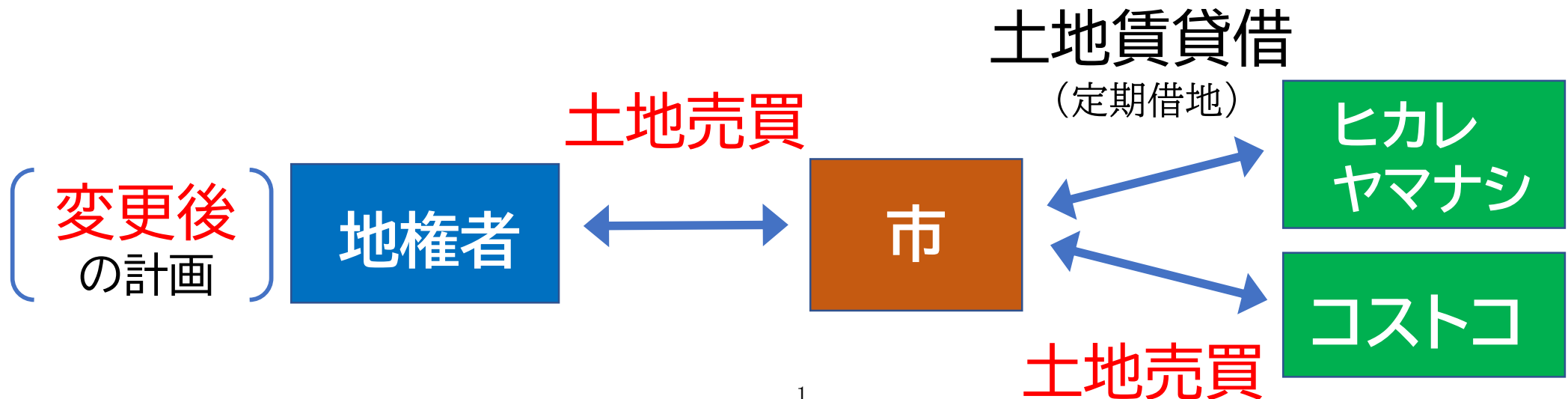
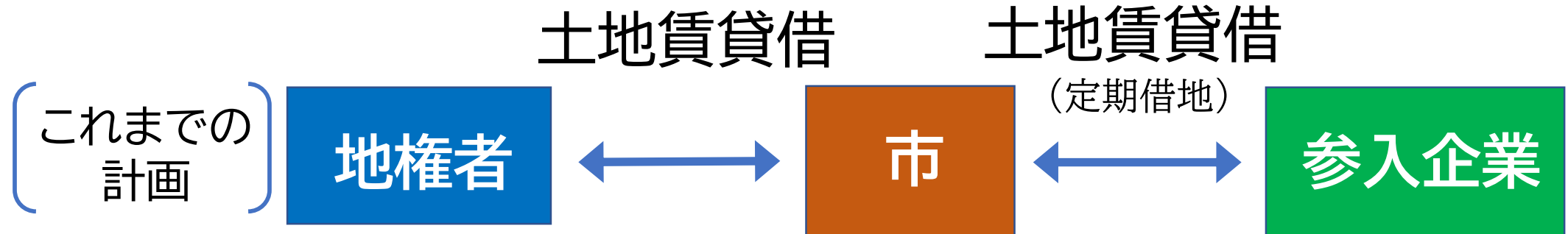


# 南アルプスIC新産業拠点整備における土地の取り扱い



南アルプスIC新産業拠点

## 企業誘致に伴う主な経費

地権者からの土地買い上げ 約 12.2 億円

埋蔵文化財調査費 約 4.5 億円

基盤整備(造成費) 最大 5 億円

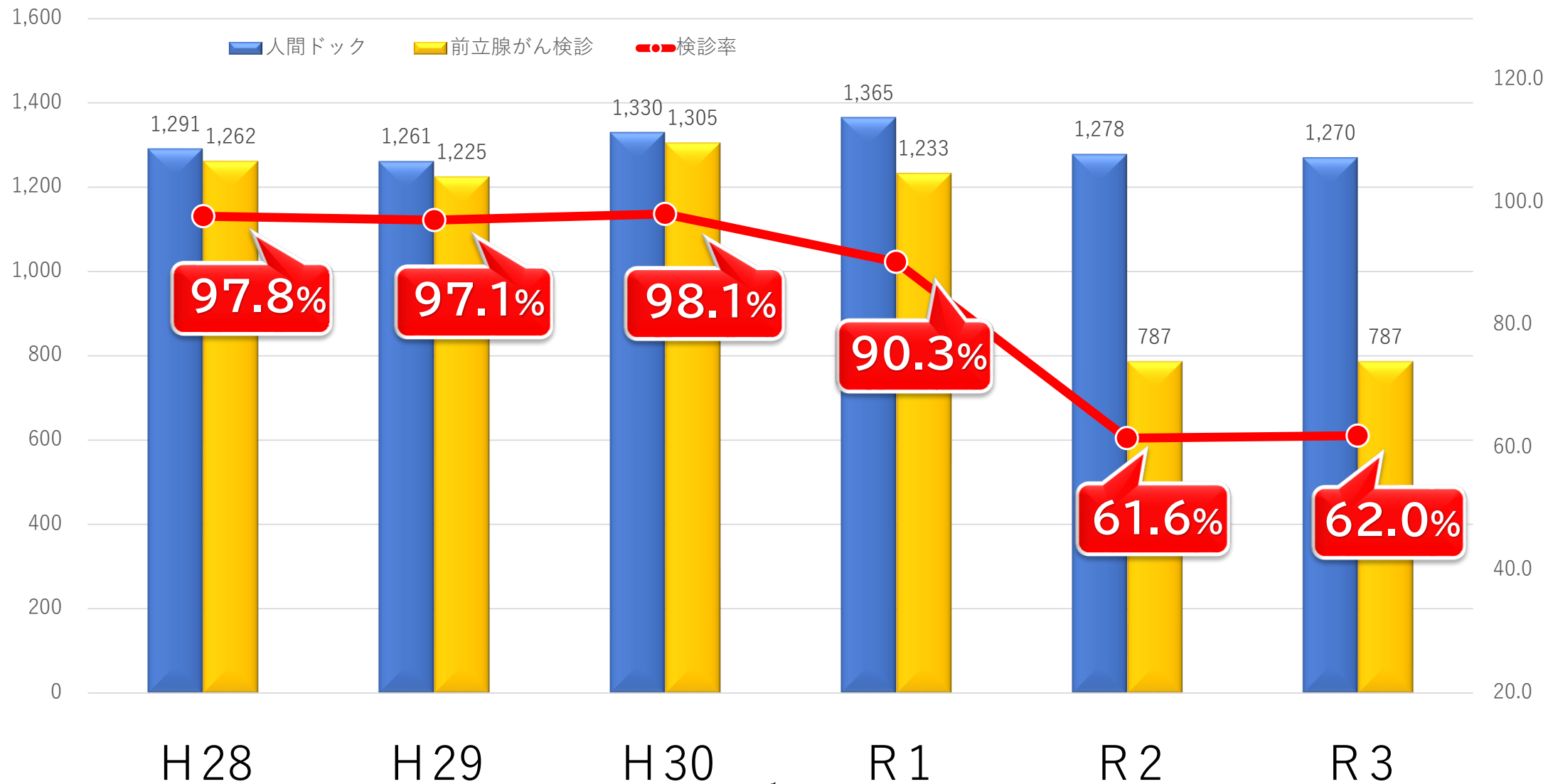
測量・設計費 約 0.7 億円

今年度

合計 22~23 億円

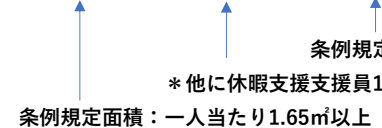
# 本市の男性の人間ドックと前立腺がん検診の検診者数・率

\*市の健康増進課の資料をもとに作成



NO.	放課後児童クラブ名	定員	入会児童数	定員に対する 入会児童数の 割合（%）	部屋数	専用区画① ㎡	専用区画② ㎡	専用区画の 合計面積 ㎡	学童一人 当たりの 面積 ㎡	支援員数 (人)	条例規定人数 に基づき算出 した支援員の 必要数
1	八田	100	125	125%	2	83.75	83.75	167.5	1.34	6	6.3
2	白根源	40	77	193%	1	54.33		54.33	0.71	3	3.9
3	白根飯野	50	93	186%	1	69.00		69	0.74	5	4.7
4	白根東	100	75	75%	2	86.12	86.12	172.24	2.30	5	3.8
5	白根百田・百田第二	100	124	124%	2	63.46	110.02	173.48	1.40	8	6.2
6	芦安	20	14	70%	1	92.70		92.7	6.62	2	0.7
7	若草	100	117	117%	2	84.46	84.46	168.92	1.44	5	5.9
8	若草南	30	76	253%	1	51.06		51.06	0.67	4	3.8
9	櫛形小笠原	100	89	89%	2	84.46	84.46	168.92	1.90	6	4.5
10	櫛形北	60	82	137%	2	39.24	31.00	70.24	0.86	5	4.1
11	櫛形西	30	24	80%	1	29.40		29.4	1.23	2	1.2
12	櫛形豊	70	82	117%	2	29.14	88.33	117.47	1.43	5	4.1
13	甲西大明	60	94	157%	1	62.54		62.54	0.67	5	4.7
14	甲西落合	20	30	150%	1	68.48		68.48	2.28	3	1.5
15	甲西南湖	40	47	118%	1	62.72		62.72	1.33	5	2.4
合計		920	1149	125%	22	960.86	568.14	1529.00	1.33	69	57.5

\*子育て支援課より入手のデータをもとに作成


 条例規定人数：児童40人毎に2人以上  
 \*他に休暇支援支援員12名確保している  
 条例規定面積：一人当たり1.65㎡以上

危機管理体制の確認内容		確認結果	実施していた クラブ数 ／ 調査した クラブ数	実施の割合	実施状況など（朱書きの内容は、重要な課題と判断される内容）	
1. 危機管理体制の確立						
危機 対 発 生 時 の 応 対	・危機管理マニュアルがあるか	ある	7/14	50%	* 児童クラブの半数でマニュアルが確認できなかった。 * マニュアルがないこと、また平成24年に発行されたマニュアルの内容が、一度も見直しがされていないことは極めて重要な問題である。	
	・危機管理マニュアルの内容を支援員が理解しているか	理解している	2/14	14%	* マニュアルが確認できた児童クラブも探して確認できたところが大半であった。この状況から支援員のマニュアル記載内容の理解度や利用者への周知は不十分と判断せざるを得ない。	
	・危機管理マニュアルの内容を利用者・保護者に周知しているか	周知している	1/13	8%		
2. 危機管理の要点						
理 健 対 康 策 管	・熱中症対策が十分に行われているか	十分に行われている	14/14	100%	* 子育て支援課の指示に基づいて対策が十分に行われている。	
	・コロナ感染症対策が十分に行われているか（マニュアルにはない）	十分に行われている	14/14	100%		
不 審 者 侵 入 対 策	予 防 対 策	・児童が出入りする時間帯を除いて施錠が行われているか	施錠している	4/12	33%	* 保護者の送迎などで出入りが多いことやコロナ対応での換気の必要から施錠は難しい状況である。
		・実践型訓練を定期的実施しているか	実施している	2/12	17%	* 女性が主の施設運営であり、訓練を行うことも難しい。
	の 進 入 時 の 対 策	・不審者侵入の対応方法は明確にされ訓練されているか	実施している	1/12	8%	* 各児童クラブに防犯スプレーが1本支給されている。（1児童クラブのスプレーは期限切れ）1児童クラブのみ刺又が支給されている。しかし、女性が主の施設運営であり不審者対応は現実的には困難と考えられる。
3 災害対策						
予 防 対 策	・室内照明器具や備品類は確実に固定されているか	固定されている	9/12	75%	* テレビの固定ができていないところがある。	
	・防災用品等は適切に保管されているか	適切に保管されている	12/12	100%	* 適切に行われている。	
	・応急手当用品・薬品の点検は定期的に行われているか	定期的に実施している	12/12	100%		
	・施設入口、廊下、階段等に避難行動を妨げる物品は置かれていないか	避難行動に支障がない	12/12	100%		
	・注意報・警報発令時の職員・指導員の役割分担は明確になっているか	明確になっている	12/12	100%		
	・指定避難場への避難方法は明確にされ、保護者や利用者へ周知されているか	周知されている	4/11	36%	* マニュアルに最寄りの指定避難地が記載され、避難方法を周知することが規定されているが、多くの児童クラブが指定避難地の掲示していない。	
	・防災訓練は計画的に実施されているか（今年度予定ありも含む）	実施されている	4/13	36%	* 条例には定期的に、マニュアルには計画的に実施することが規定されているが、実施していない児童クラブからは「学校で実施しているので児童クラブでは実施してしない」との説明があった。	
	・ハザードマップは掲示され、周知されているか（マニュアルにはない）	掲示され周知されている	8/13	62%	* 掲示されている児童クラブも利用者への周知は十分でない。	
災 害 発 生 時 の 対 応	・AEDが設置されているか（マニュアルにはない）	設置されている	11/13	84%	* 八田と芦安：児童クラブには設置されておらず小学校にある。 * 全児童クラブに設置すべきである。	
	・AED設置場所の表示があり利用者に周知しているか（マニュアルにない）	表示され周知している	7/13	54%	* 高価な機器なので多くの児童クラブが児童の手が届かない棚の中や棚の上に置いている。表示や周知が不十分で児童たちが知らないところが多い。指導員は救命処置研修を最低1度は受講しているものの、その後は希望者のみが受講することになっており、ここ数年間受講していない指導員やコロナ禍で未受講の新人指導員もいるなど、救命処置体制が確立されているとは言えない。	
	・災害発生時の保護者への引き渡し方法は明確にされ保護者に周知されているか	引き渡し方法を明確にしている	0/14	0%	* マニュアルの「災害発生時の対応」欄には災害等発生時の避難と方法、児童全員を保護者に引き渡すまでの対応内容が規定されている。しかし、「引き渡し訓練は学校で実施している」との理由で実施してしない。	